

2023 自己分析シート

記入日：2023/ /

自己評価は5段階評価で「できる5 ⇔ できない1」で示してください。またコメントがあれば書いてください。

ハンドルネーム：

項目	内容	自己分析		製図試験 com 評価確認
		自己 評価	コメント	
読解	1. コンセプトとして設計条件は読めている		読解	
	2. 要求図書の読み方順は確立している			
	3. 敷地条件の読み方は確立している			
	4. 建築物のボリューム出しはできる			
	5. 外構計画はパターンができています			
	6. 最大建築面積計算はできる			
	7. 要求室の3条件の読み方は確立している			
	8. 動線図を描くことができる			
	9. 読解のまとめ・ポイント出しができる			
計画	10. 部門ごとのゾーニングはできる		計画	
	11. コアゾーニングはできる			
	12. コマレベルでのプランニングはできる			
	13. 1/400 エスキースはできる			
構造	・RC 構造図の一式図を理解できる		構造	
	・ラーメン構造は理解できている			
	・構造に特に不安はない			
設備	・空調はほぼ理解できている		設備	
	・電気・照明はほぼ理解できている			
	・給排水はほぼ理解できている			
	・設備には特に不安はない			
作図	・作図は時間内に一通りできる		作図	
	・平均的な作図時間	時間 分		
要点	・計画した建物を説明することはできる		要点	
	・構造、設備について説明することができる			
時間 管理	・本試験までの時間管理はできる		時間管理	
	・本試験当日の時間管理はできる			
メン タル	・本試験までのメンタルは準備できる		メンタル	
	・本試験当日のメンタルは大丈夫			

何が足りないと自己分析していて、製図試験 com で学びたいこと。できればスケジュールも含めてお書き添えください。

個人属性（非公開）

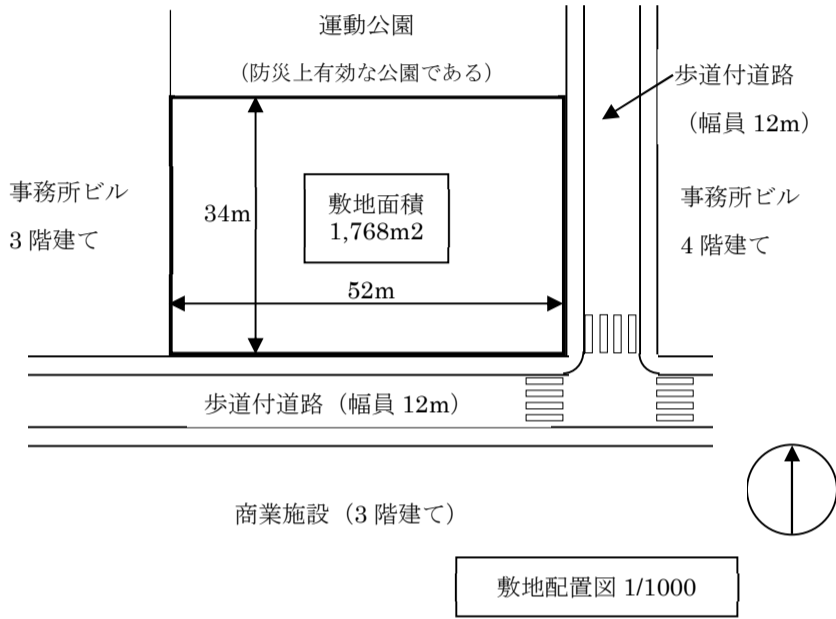
氏名：	建築設計経験：なし・学生時・経験あり・現在	仕事：	過去受験回数： 回	資格学校経験
-----	-----------------------	-----	-----------	--------

I. 設計条件

この課題は、ある地方都市において「子育て支援センターのあるコミュニティセンター」を計画するものである。北側に市民のための運動公園(防災上有効な公園)がある。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は道路及び隣地との相互間に高低差はない。また歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、第一種住居地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は70%(特定行政庁が指定した角地にある敷地及び準防火地域における耐火建築物等を含む)、容積率の限度は200%である。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ち等の必要はない。
- 水害、日影及び積雪の配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- 構造、階数等
構造形式は自由とし、地上3階建ての耐火建築物とする。
- 床面積の合計
床面積の合計は、容積率以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段は、床面積に算入しないものとする。なお、ピロティ等を屋内的用途に供するもの(駐車場、設備スペース等)については、床面積に算入するものとする。
- 要求室
下表の室は、すべて計画する。

*利用者用の集会機能のある要求室は長辺と短辺の比率を2:1以内とする。			
部門	室名	特記事項	床面積
子育て支援センター部門	子育て支援センター	・上足とし、玄関、ベビーカー置場を設ける。 ・保育室1、2、子供トイレ、授乳室、相談室、保育事務室、スタッフ休憩室等を設ける。	約300m ²
	セミナー室	・子育てセミナー等に用いる。	約100m ²
	セミナー室大	・子育てセミナー等に用いる。 2室分割できるよう可動間仕切りを設ける。	約200m ²
文化交流部門	多目的ホール	・空調機械室等を設ける。 ・天井高さ6m以上とする。	約250m ²
	会議室ABC	・会議室を3室設ける。	計約200m ²
	NPOオフィス図書室	・エントランスホールとの視認性に配慮する。 ・NPOが8団体程度利用する。 ・ブラウジングコーナー、図書事務室、貸出カウンター、テーブル、椅子、キャレル、開架書架等を設ける。	約100m ² 約250m ²
共用部/他	エントランスホール	・風除室、市民展示コーナー、ソファ、テーブル等を設ける。 ・上部は全て吹抜けとする。	約200m ²
	カフェ	・テーブル、イス、カウンターで25席以上設ける。厨房、控室、食品庫等を設ける。 ・外部からも出入りできるように配慮する。	適宜
	事務室	・4人分の事務スペース(6m ² /人以上)とする。 ・案内カウンターを設ける。	適宜
設備スペース	便所	・男、女、多機能トイレ(オストメイト対応)を各階に設け便器、洗面、SK等をレイアウトする。	適宜
	設備スペース	・必要に応じて室外機、電気設備を設置する。 ・機器のメンテナンスに配慮した配置とする。 ・その他、採用した設備計画に応じて計画する。	適宜
・職員の通用口や倉庫等は、適切に計画する。 ・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

3. その他の施設等

- 駐車場は平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、一般利用者用として1台分、管理・サービス用として1台分以上合計3台分以上を設け、それ以外の一般利用者は敷地北側の運動公園内駐車場を利用する。
- キッズガーデン(面積200m²以上)を地上、もしくは1階か2階の屋上に設ける。子育て支援センターとの動線に配慮する。
- スクエア広場(300m²以上)を地上、もしくは1階か2階の屋上に設ける。アプローチと兼用してもよい。多目的ホールと一体的にイベントができるよう配慮する。
- 駐輪場は、2.0m x 0.5m/台とし、20台分以上設ける。

4. 留意事項

- 建築計画、構造計画及び設備計画については、次の点に留意して計画する。
- 建築物はバリアフリー、セキュリティ、省エネルギー、景観に配慮する。
 - 利用者の当該敷地へのアプローチは、利用者の利便性に配慮する。また各部門は利用形態に応じて適切に計画する。
 - 敷地条件(方位等)や周辺環境に配慮するとともに、空調負荷の抑制や自然光の利用、日射遮蔽及び通風等を用いて、建築環境負荷低減に配慮する。
 - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに経済性にも配慮する。
 - 構造種別、架構形式、スパン割及び基礎構造について適切に計画すると共に、適切な断面寸法の部材を配置する。
 - 設備機器の搬出入及び更新に配慮した計画とする。
 - 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には、所定の防火設備を適切に計画する。また、防火区画(面積区画・堅穴区画)が必要な部分には、所定の防火設備を用いて適切に区画する。なお、本建築物は、「避難上の安全の検証」を行わないものとする。
 - 廊下を含む共用部分の排煙を適切に計画する。
 - 地上に通ずる2以上の直通階段を適切に計画する。また、必要に応じて、「敷地内の避難上必要な通路」を適切に計画する。

II. 要求図書

答案用紙Iの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Iに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。なお各図面には、必要に応じて計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特記事項
(1)1階平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図、2階平面図及び3階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ.室名等 ハ.設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ニ.設備計画に応じた設備スペース ホ.断面図の切断位置
(2)2階平面図 1/200	ヘ.要求室の床面積、特記事項の室、スペース、什器等 ト.建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置及び防火設備、防火区画に用いる防火設備
(3)3階平面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の出入口(▲で表示)、通用口等(△で表示) ロ.駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ハ.敷地内の避難上必要な通路(ある場合のみ)の経路と幅 ニ.通路、植栽等 ③ 2階平面図、3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ
(3)断面図 1/200	① 切断位置は、エントランスホール及び多目的ホールを含む位置とする。なお水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 建築物の最高の高さ、階高、天井高、1階床高、基礎底盤及び主要な室名を記入する。 ③ 梁、壁、基礎、スラブの断面を図示する。 ④ 延焼の恐れのある部分及び、防火区画の防火設備、特定防火設備を図示する。

2. 面積表(答案用紙Iに記入)

- 地上1~3階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。また建ぺい率とその計算式についても記入する。

3. 計画の要点等

要点用紙参照とする。

■添削について

コース生・添削希望者は、図面、要点、エスキース・分析表を同封して下記住所までお送り下さい。第1回めのめ切は1月30日(月)消印有効。添削は約1週間程度でご返却を予定しています。
〒554-0012 大阪市此花区西九条2-7-8-3F 製図試験.com 事務局
送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を4つ折りして角2号封筒を使用してください。速達、書留、宅急便にする必要はありません。

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。

なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

(1)スクエア広場と多目的ホールの計画に際して、使いやすさに配慮した点及び図示(必須)

配置計画
動線計画
図示欄

(2)子育て支援センターについて夜間利用を含めて配慮した点

(3)多目的ホールの構造計画として配慮した点 及び梁伏図

梁伏図 柱C1/C2 大梁G1 小梁B1 PC梁はPcG1 PC小梁はPcB1 スラブS1とする。(縮尺なし)

※要点・図面・エスキースの裏面には念のため、氏名のみお書き添えください。

(4)選定した設備計画について費用対効果に配慮した点

空調
照明
給排水
創エネルギー

(5)採用した防火区画の区画割の考え方とその区画設備について

質問欄
